

FIRSTEG

ドライブレコーダー
車両事故記録カメラ

取扱説明書



FT-DR ZERO II

このたびは **FT-DR ZERO II** をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。
お読みになった後は、大切に保管していただき、その都度ご参照ください。

本機は DC12V/24V 車（マイナスアース）専用です

目次

必ずお読みください	1
安全についてのお願いとご注意	2
本機の特長	4

準備する

同梱品を確認する	5
各部の名称	6
車へ取り付ける	7
電源を入れて日時を合わせる	11
メディアを準備する	12

撮る

動画を撮影する	13
---------	----

見る

本機で撮影した映像・画像を見る	13
-----------------	----

便利な機能を使う

各種設定を変更する	15
-----------	----

各種アクセサリと接続する

SE-1 を使用する	18
BP-1/BP-2 と接続する	19

故障とお考えになる前に

仕様	21
----	----

必ずお読みください

- ※記録用 SD/SDHC カードご使用上の注意
SD/SDHC カードの種類によっては性能を発揮できない場合がありますので、あらかじめテスト撮影を行ってください。
- ※車両事故等に遭われた場合
記録を停止しない限り、撮影を続けるため事故時の映像が上書きされてしまう場合があります。出来るだけ早く撮影を停止し、本機から SD/SDHC カードを取り出して SD/SDHC カードを書き込み禁止状態にして保管されることをお勧めします。
- ※パソコンで映像の再生をする場合の動作環境
Windows Vista/7 がインストールされたパソコン。
AVI (H.264) 形式に対応した再生ソフト (再生ソフトに関するお問い合わせはお受けできません)
USB2.0 インターフェースもしくは SD/SDHC カードリーダーを備えていること。
それぞれの OS の推奨環境以上で動画再生でも十分な能力を持っていること。

安全についてのお願いとご注意

本機を安全にご使用いただくには、正しい使い方と安全に関する注意事項をお守りいただく必要があります。本書では、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。



警告

この表示の欄を守らないと火災・感電及びその他の危険により死亡や大けがの原因となります。



注意

注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

警告



■運転の妨げにならない場所に取り付ける

本機は、運転の妨げにならないように、取り付けてください。また、取り付ける際に、本機が落下しないように十分ご注意ください。万が一落下した場合でも、運転の支障にならない場所をお選びください。



■電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。



■本機を濡らさない

水につけたり、水をかけたりしないでください。また、濡れた手で操作しないでください。感電、故障の原因になります。



■車を運転中に本機を操作しない

車を運転中に本機を操作することは交通事故の原因になります。運転中の操作は絶対に避け、安全運転を心がけてください。



■ケースは絶対にあけないでください

本機は精密部品を多数搭載しています。分解や改造を加えますと故障や感電の原因となります。



■内部に異物を入れない

内部に異物が入ると火災や感電の原因となります。



■異常があるときはすぐ使用をやめる

発熱、発煙、異臭を感じた時は、直ちに使用を中止して、カー電源コードを車のシガーライターソケットから抜いてください。本機からバッテリーを取り出してください。そのまま使用されますと火災や感電の原因になります。お客様ご自身での修理は絶対に避けてください。

⚠ 注意



- 衝撃や強い振動を加えない
使用している部品が壊れ故障の原因になります。



- 使用温度／湿度範囲内でご使用する
本機の温度／湿度保証範囲以外で使用すると内部の部品に悪影響を与えたり、誤作動の原因となります。特に夏期や直射日光に当たると予想以上に高温になりますので十分ご注意ください。



- 高温時の取り扱いに注意する
本機に直射日光が当たっている状態など本機がかなり高温になっているときがありますので触れる際には、十分にご注意ください。



- お手入れの際、電源プラグを抜く
お手入れの際はかならず本機の電源を切り、カー電源コードを車のシガーライターソケットから抜いてください。また、お手入れには柔らかい布またはティッシュペーパーを使用し、シンナー、ベンジン、アルコール類を使用しないでください。使用するとケースが変形するおそれがあります。

機能上の制約



- 日本国内で使用する
本機の仕様は日本国内向けとなっています。



- 取り付け場所を十分に考慮する
本製品は道路運送車両法・保安基準第 29 条の前面ガラス装着規制から除外した商品になっています。但し、設置場所はフロントウィンドウの上端から下方向に 1/5 以内の場所に限りです。装着後運転の邪魔にならないか、バックミラーの操作の邪魔にならないか等十分に確認してから使用してください。

■ 免責について

- 弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。
1. 本商品に関連して直接または間接に発生した損害・被害、または結果的損害・被害
 2. お客様の誤使用や不注意による本製品の障害または破損など
 3. お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それ起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
 4. お客様による映像（記録を含む）が何らかの理由により公となりまたは目的外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど
 5. 記録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと

■ 個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された映像で個人が特定できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

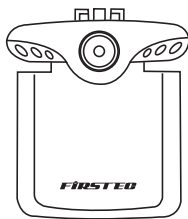
本機の特長

- 約 100 万画素の高解像度
約 100 万画素の高解像度 CMOS センサーを搭載
- ワイドレンズ搭載
水平画角 約 115 度レンズを搭載
- 2.5 型カラー液晶モニター搭載
液晶モニターを搭載しており、録画中画像のモニター可能
および、記録した画像を直ぐ再生可能
- フロントガラスに簡単に取り付け可能
取付けステーは両面テープにて簡単取付け可能
- データー記録用バックアップ電池内蔵
衝撃によってシガー電源が切れた時でも、内蔵のバック
アップ電源で録画中のファイルを閉じて保存します。
- 1 ファイルの撮影記録時間は、3 分、5 分、10 分を選択可能
選択されたモード（3 分モード、5 分モード、10 分モード）
の時間ごとにファイルが作成されます。
SD カードの容量がいっぱいになると、古いデータから自
動的に上書きされていきます。
- 音声記録も可能
モノラルマイクロホンを内蔵しております。映像に加え、
音声も記録できます。音声録音は ON/OFF 設定が可能です。
- DC12V/24V 対応用のカー電源コード付
DC12V/24V まで対応でき、乗用車もトラックにも搭載可
能です。
- オプションの赤外線 LED ユニット「SE-1」装着可能
「SE-1」を装備しますと車内の夜間撮影も可能です。
(約 2 m 程度)

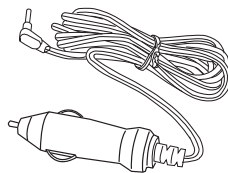
| 準備する

同梱品を確かめる

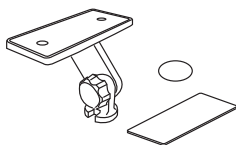
お買い上げいただいた製品は次の品目から構成されています。
内容をご確認ください。



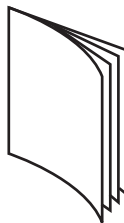
本体
(1 台)



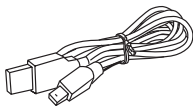
カー電源コード<約 3m>
(1 本)



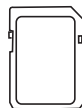
取付けステー (1 個)
ステー固定用両面テープ



取扱説明書<本冊子>
保証書付 (1 冊)

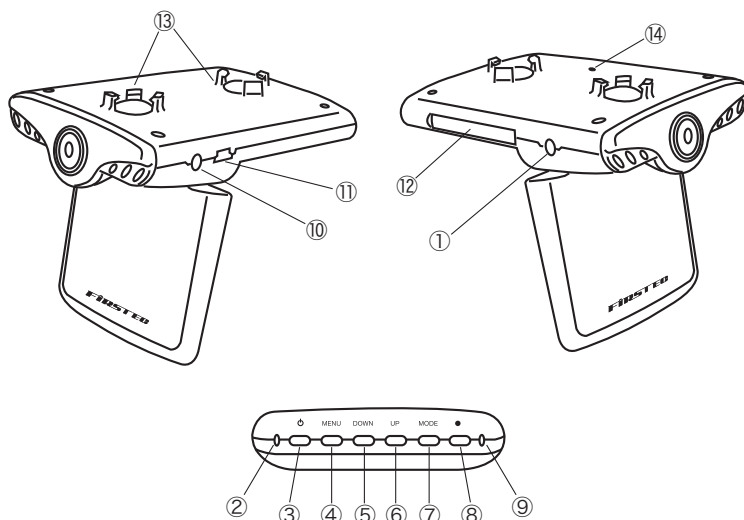


USB 接続ケーブル
(1 本)



SD カード< 2GB >
(1 枚)

各部の名称



① 電源ジャック

電源入力はDC12V/24V 対応です。必ず付属のカー電源コードを接続してください。

② 電源 LED

③ 電源キー

※本機は車のエンジンをかけると自動的に ON になります。

④ MENU キー

設定画面の表示をします。

⑤ DOWN キー

設定内容の選択をします。画像のズームバック。

⑥ UP キー

設定内容の選択をします。画像のズームアップ。

⑦ MODE キー

動画 / 静止画 / 再生モードを切り替えます。

⑧ 記録 / 確定キー

録画の停止 / 開始及び各種設定の確定します。

⑨ 録画 LED

⑩ AV 出力端子

⑪ USB 端子

USB ケーブルにてパソコンと接続することで、SD/SDHC カードリーダーとして動作します。

⑫ SD/SDHC カード挿入部

SD/SDHC カードを挿入します。

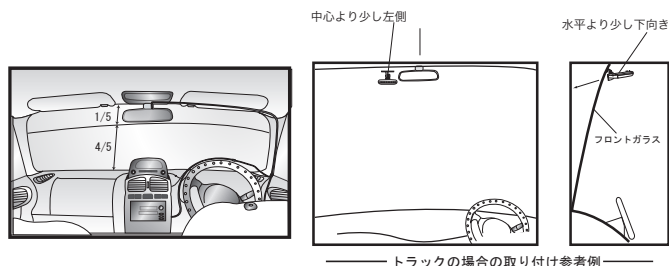
⑬ 取付けステー装着部

⑭ リセットホール

車へ取り付ける

取り付け上のご注意

- 車を平らで安全な場所に駐車して作業をしてください。
- 配線後のコードが運転の支障にならないように固定してください。
- 道路運送車両法・保安基準に適合するように、フロントガラスに取り付けてください。
- 取り付け位置はフロントウィンドウの上端から上下方向に 1/5 以内の場所、もしくは運転席側から見てルームミラーに隠れる場所に取り付けをしてください。
- レンズ部分がワイパーでふき取れる部分になる位置にくるよう取り付けください。
- 点検シールや検査標章などと重ならないようにしてください。
- 両面テープを貼り付ける際、接着面の汚れや湿気をよく取り除いてから行ってください。特に湿気の多い日はデフロスター等で湿度を下げてから行ってください。また最初にセロテープ等などで仮止めをしてから貼ることをおすすめします。
- 貼り付け直後は十分な接着力が得られません。テープ本来の接着力を得るには 24 時間程度必要です。
- 接着力が高いため、はがす場合には接着面を傷める可能性があります。
- あらかじめモニターで撮影範囲を確認の上、取り付けしてください。
- ルームミラーの操作に邪魔にならない位置に取り付けてください。

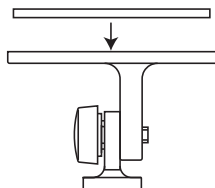


- ドライブレコーダーとして使用する場合は、前方がしっかりと見える場所に取り付けてください。
- 車内防犯用として使用する場合は、車内に向けて取り付けてください。

注意!

カーナビゲーション、ETC、地デジチューナーやそれらのアンテナなど電波を受信する機器から離して取り付けてください。

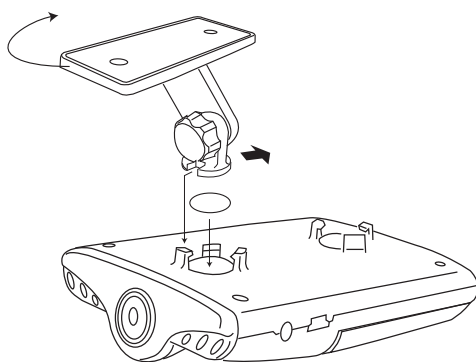
本体の取り付けステーに付属の両面テープを貼り付けます。
(取り付けステーのくぼみに合わせて貼ってください)



取り付けステーを本体に取り付けます。

ドライブレコーダーとして使用する場合

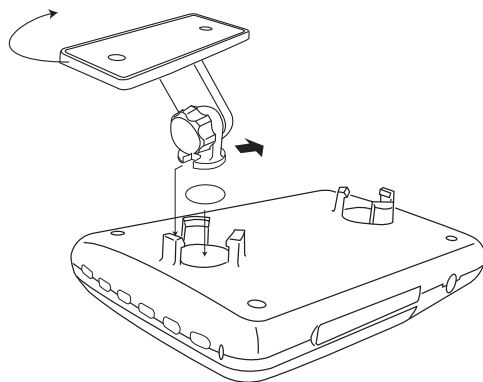
使用する取り付けステー部の凹みに合わせ円形スペーサーを入れます。
取り付けステーの切欠き部をフロント側の突起（幅が狭い所）に合わせ押し込みます。
取り付けステーを後方の爪にかかるよう押し付けるようにしながら、後方（矢印の方向）にずらします。
取り付けステーを 90 度回転させます。



車両の中央部から助手席側の運転に邪魔にならない場所にレンズを進行方向に向けて取り付けます。

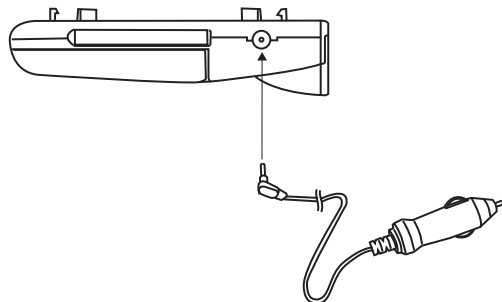
車内撮影として使用する場合

使用する取り付けステー部の凹みに合わせ円形スペーサーを入れます。
取り付けステーの切欠き部をリア側の突起（幅が狭い所）に合わせ押し込みます。
取り付けステーを後方の爪にかかるよう押し付けるようにしながら、前方（矢印の方向）にずらしします。
取り付けステーを 90 度回転させます。



フロントガラスに合わせてみて運転の邪魔にならないかを確認します。
問題ないことを確認したら、剥離紙を剥がして貼り付けします。
目的のものが写るかを確認してレンズの方向を合わせます。

付属のカー電源コードのプラグを本体の電源ジャックに差し込みます。
カー電源コードの電源プラグを車のシガーライターソケットに差し込みます。



注意!

- シガーライターソケットが汚れていると接触不良の原因になりますので、よく掃除をしてから取り付けてください。
- カー電源コードは必ず付属のものをご使用ください。

電源を入れて日時を合わせる

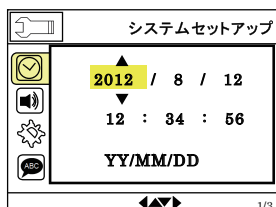
日付を合わせる前に SD/SDHC カードを抜いておきます。



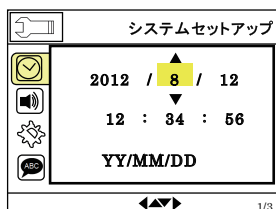
① モードキーを押してシステムセットアップを表示させます。



② DOWN キーで "日付と時間" に合わせて記録 / 確定キーを押します。



③ 年を DOWN/UP キーで合わせたら、MENU キーで項目を移動させます。



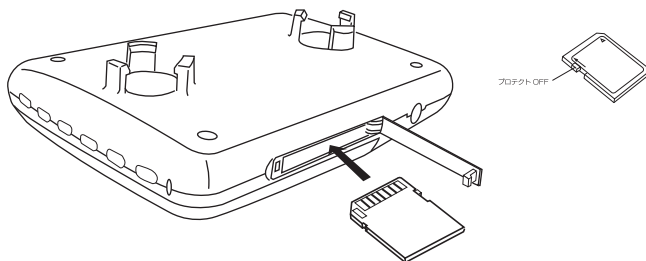
④ 月を DOWN/UP キーで合わせたら、MENU キーで項目を移動させます。

⑤ 同様に日・時刻、表示形式を選択し、最後に記録 / 確定キーを押します。

その他の項目は同梱の SD カードを使う場合に合わせて推奨値に設定してあります。設定を変更する場合には「便利な機能を使う」を参照して変更してください。

メディアを準備する

- ① SD カードスロットカバーを開けます。

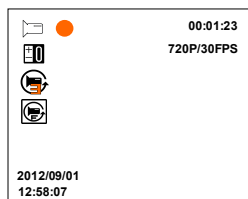


- ② SD カードのライトプロテクトは OFF にしてください。SD カードのラベル面を下にして本体のカード装着部に “カチッ” と音がするまで挿入します。このときカードの向きに注意してください。また、カードを抜く場合にも同様に “カチッ” と音がするまで押してから引き抜いてください。
- ③ SD カードスロットカバーを閉めます。
- ④ SD カードのライトプロテクトが ON のときは「SD カードがロックされています」と表示されます。SD カードのデータを保護するときのみ ON してください。

撮る

動画を撮影する

本機に外部からの電源が供給されると、自動的に電源が入り記録が開始されます。(記録が開始されるまでに少し時間が掛かります。)



録画が開始されると、LCD の赤●の録画アイコンが点滅を開始します。
また、本体の記録 / 確定キー横の橙 LED がゆっくりと点滅を開始します。

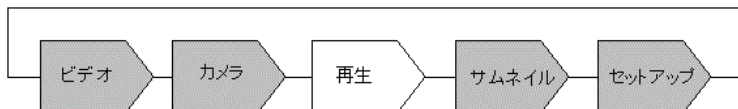
録画を止める場合は、記録 / 確定キーを押します。

見る

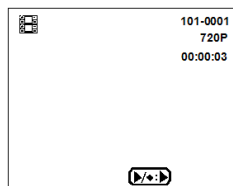
本機で撮影した映像・動画を見る

①再生モードで再生

MODE キーを押して再生モードにします。



再生したい映像を UP/DOWN キーで選択し、記録 / 確定キーを押すと再生が開始されます。



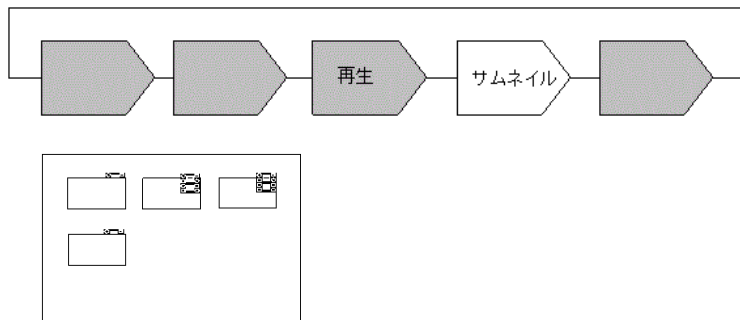
再生が開始されると、カウンターが現れて再生時間を表示します。

再生を停止するときは、記録 / 確定キーを押すと再生画面が停止します。
(記録 / 確定キーを再度押すと再び再生を始めます。)

MODE キーを押すと、モードが切り替わりサムネイル画面となります。

②サムネイルで再生画像を選択

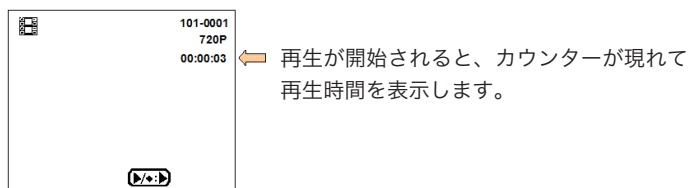
MODE キーを押してサムネイル表示モードにします。



記録した映像や画像の一覧がサムネイルとして表示されます。

再生したい映像を UP/DOWN キーで選択し、記録 / 確定キーを押すと映像・画像が選択された状態になります。

この時に記録 / 確定キーを押すと、再生が開始されます。



再生中に記録 / 確定キーを押すと動画が停止し、静止状態となります。再度押すと、再び動画を再生します。

I 便利な機能を使う

各種設定を変更する

各種設定を行う場合、撮影は一旦中断してください。

■もっときれいな画像、もっと長時間の録画

ビデオモード・MENU > 解像度

録画する画像の解像度を設定します。

1080P/15FPS (1440×1080) : 高解像度
720P/30FPS (1280×720) : バランス
WVGA/30FPS (848×480) : 長時間 (初期設定)

※ WVGA は 800×480 ですが、本機では 848×480 を WVGA として便宜的に使用しています。

■画像を明るく・暗く

ビデオモード・MENU > 露出補正

マニュアルで露出補正を設定できます。

設定範囲：-2.0 ~ +2.0

(電源を入れなおすと初期値 +0.0 に戻ります)

■録画繰り返し時間を設定する

ビデオモード・MENU > 録画繰り返し時間

一つの録画ファイルの時間を設定します。

SD/SDHC カードの容量がいっぱいになると、古いファイルから消されて新しいファイルが保存されます。

設定範囲：3 分、5 分、10 分、オフ

オフを選択すると、SD/SDHC カードがいっぱいになるまで記録すると録画動作が終了します。

■動きを検出して録画を開始する

ビデオモード・MENU > 動体検知

動体検知機能を ON に設定すると、画像の中に動くものが検出された場合に記録を開始します。動作が検出されなくなると自動的に録画が停止します。

※動体検知はカメラに写っている画像の中の動体を検知します。動くものがあった時に自動的に電源が ON になるものではありません。また、遠くのものなど画面に占める割合が少ない場合や動きが連続しない場合などには反応できない場合があります。

■映像と同時に周囲の音を録音

ビデオモード・MENU > サウンドレコーディング

サウンドレコーディング機能で、映像とともに音声や車の中の音を同時に記録するかどうか選択できます。

ON : 音声を記録する

OFF : 音声を記録しない

■記録済みファイルを保護する

再生モード・MENU > 保護

記録された映像ファイルは、SD/SDHC カードの容量がなくなると新しい映像を記録するために最も古いファイルから消され（上書き）ますが、保護された記録済みのファイルは消されることがありません。

※現在のファイルをロック・ロック解除、すべてのファイルをロック・ロック解除の4種類が選択できます。

■記録済みファイルを消去する

再生モード・MENU > 消去

記録された映像ファイルは古いものから自動的に消され（上書き）ますが、手動で特定のファイルを消去することができます。

※現在のファイルを消去、すべてのファイルを消去の2種類が選択できます。

■静止画に日時を記録する

静止画モード・MENU > 日時記録

静止画を記録するときに日時を同時に記録することができます。

ON : 日時を記録する

OFF : 日時を記録しない

■静止画の露出補正をする

静止画モード・MENU > 露出補正

設定範囲：-2.0 ～ +2.0

■静止画の解像度を設定する

静止画モード・MENU > 解像度

解像度は5M、8M、10Mから選択できます。

5M : 2592×1944

8M : 3200×2400

10M : 3648×2736

■日付と時間を設定する

システムセットアップ・MENU > 日付と時間

映像、静止画に記録する日時の設定をします。(P.11 参照)

■操作音の ON/OFF

システムセットアップ・MENU > 操作音

ボタンを押した時の操作音の ON/OFF を設定します。

■スクリーンセーバー

システムセットアップ・MENU > スクリーンセーバー

録画の時間が一定時間経過すると LCD 画面のバックライトが消え、画像が暗くなります。スクリーンセーバが動作するまでの時間(1分、3分、5分、オフ)を設定します。

※オフを選択するとスクリーンセーバは動作しません。

■メニューの言語を選択する

システムセットアップ・MENU > LANGUAGE (言語選択)

表示言語を日本語・English (英語) から選択できます。

■蛍光灯のチラツキを抑える

システムセットアップ・MENU > 電源周波数

蛍光灯下でのチラツキを抑えるための設定です。東日本では 50Hz、西日本では 60Hz を選択します。

■映像を外部機器に出力する

システムセットアップ・MENU > TV モード

映像を AV 出力端子から出力する場合の方式 (NTSC/PAL) を選択できます。日本国内では NTSC 方式を選択してください。

■設定を工場出荷状態に戻す

システムセットアップ・MENU > デフォルト設定に戻す

本機の設定を工場出荷状態に戻します。出荷状態に戻すときは「確認」を選択してください。

■SD/SDHC カードを初期化する

システムセットアップ・MENU > フォーマット

SD/SDHC カードの初期化を行います。SD/SDHC カードを初期化すると、保存されているデータはすべて消去されます。必要なデータはあらかじめパソコンなどに保存しておいてください。

■ソフトウェアのバージョンを確認

システムセットアップ・MENU > ソフトウェア バージョン

本機ソフトウェアのバージョン情報を確認できます。

各種アクセサリと接続する

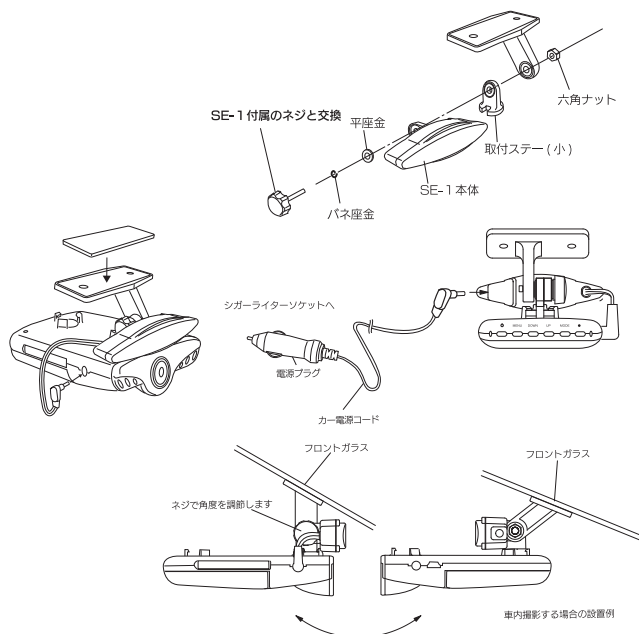
SE-1 を使用する

弊社製 赤外線ユニット SE-1 を使用する

別売りの赤外線ユニット SE-1 を使用することで、夜間の車内防犯などにも本機を利用することが可能になります。

(赤外線領域のため映像の色調は可視光領域での色調と異なります)

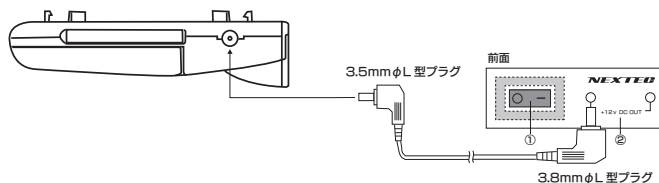
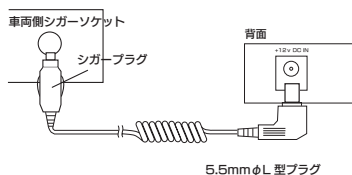
- ① ドライブレコーダーのねじを SE-1 に付属のものとは交換します。
- ② SE-1 本体から出ている電源プラグをドライブレコーダーの電源ジャックに差し込みます。
- ③ カー電源コードの L 型プラグを SE-1 の電源ジャックに差し込みます。
- ④ カー電源コードの電源プラグを車のシガーライターソケットに差し込みます。
- ⑤ ねじで角度を調整し、固定してください。



BP-1/2 と接続する

別売りのマルチ・パワーボックス BP-1/2 を使用することで、エンジンを切った状態で本機を防犯カメラとして使用できます。

- ① BP-1/2 正面の「+12V/+5V 出力電圧 ON/OFF スイッチ」を OFF にします。
- ② BP-1/2 付属のシガープラグカール式コードの 5.5mm ϕ L 型プラグを BP-1/2 の背面「+12V DC IN」端子へ差し込みます。
- ③ シガープラグコードを車のシガーソケットへしっかり差し込みます。
- ④ BP-1/2 付属の接続ケーブル(3.5mm ϕ L 型 -3.8mm ϕ L 型)の 3.8mm ϕ L 型プラグを BP-1/2 の 12V 出力端子に差し込みます。
- ⑤ もう一方の 3.5mm ϕ L 型プラグを本機の電源ジャックに差し込みます。
- ⑥ BP-1/2 の正面の「+12V/+5V 出力電圧 ON/OFF スイッチ」を ON にします。



I 故障と考える前に

電源が入らない

- カー電源コードを DCIN ジャックにしっかり接続されていない。
⇒カー電源コードを DCIN ジャックにしっかり接続してください。
- カー電源コードが車のシガーライターソケットにしっかり接続されていない。
⇒カー電源コードが車のシガーライターソケットにしっかり接続してください。
- カー電源コード先端に入っているヒューズが切れていませんか？
⇒新しいヒューズと交換してください。

映像が記録できない

- SD/SDHC カードが挿入されていない。
⇒カードを本体に挿入してください。
- SD/SDHC カードに異常があると映像記録ができなくなります。
⇒その場合は SD/SDHC カードをフォーマットしてから本体に挿入してください。

冬期電源を入れた直後画面が暗い

- 液晶画面の性質上、画面が温まるまでは暗い状態が続きます。

操作を受け付けない

- SD/SDHC カードが壊れている可能性があります。
⇒SD/SDHC メーカー様へお問い合わせください。
- 内部コンピュータの異常
⇒リセットホールのリセットスイッチをクリップの先などで押してください。

I仕様

■イメージセンサー	CMOS 約 100 万画素
■水平画角	約 115°
■ビデオサイズ	1440×1080 15fps /1280×720 30fps /848×480 30fps
■言語	日本語 / 英語
■ビデオファイル形式	AVI-H.264
■音声	モノラル
■付属品	取付けステーキット ×1 USB 接続ケーブル ×1 カー電源コード ×1 取扱説明書 ×1 SD カード < 2GB > ×1

6 ヶ月保証規定

本製品は、当社において厳重な品質管理のもとに検査され合格したのですが、万一ご購入後 6 ヶ月以内に製造上の不備に起因する故障が生じた場合には、当社が責任をもって無償修理いたします。なお、次に記載した場合の故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

- ①使用上の誤り、不当な改造や修理などによる故障および損傷。
 - ②ご購入後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
 - ③火災、地震、水害、異常電圧、指定外の電源、電圧、周波数使用およびその他の天変地異などによる故障および損傷。
 - ④本保証書のご提示がない場合。
 - ⑤本保証書の所定事項が未記入、あるいは字句が書き換えられた場合。
- ※本保証書は日本国内においてのみ有効です。

修理を依頼されるときはまず、配線の状態および操作方法に間違いがないかどうかよく調べていただき、それでも異常がある時は修理依頼してください。

■保証期間中は：

保証書を添えてお買い求めの販売店までご持参願います。
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは：

お買い求めの販売店にご相談ください。
修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

品質保証書

本製品は、当社において厳重な品質管理のもとに検査され、それに合格したものです。万一、ご購入後 6 ヶ月以内に製造上の不備に起因する故障が生じた場合には、当社が責任をもって無償修理いたします。修理の際には、本製品をご購入いただいた販売店に、必ず本保証書をご持参の上ご依頼ください。
本保証書のご提示のない場合には全額有償となりますので、本保証書は大切に保存してください。

商 品 名	ドライブレコーダー FT-DR ZERO II		
保証期間	6 ヶ月間	購入年月日	年 月 日
お 客 様	ご住所		
	TEL.		
	お名前		
販 売 店	住所		
	店名		
	(印)		

本保証書は再発行しませんので大切に保管してください。

株式会社エフ・アール・シー

FRC CO.,LTD.

〒194-0035 東京都町田市忠生 4-11-8

TEL 042-793-7746

URL <http://www.frc-net.co.jp/>